

令和2年度事業報告書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I 主要な会議等

1 理事会

開催日	議案等	備考
令和2年4月1日	常務理事の選任の件	書面表決
令和2年5月1日	評議員会の開催（書面表決）	書面表決
令和2年6月7日	① 令和元年度事業報告及び決算の件 ② 定時評議員会の開催の件 ③ 顧問の選任の件 〈報告事項〉 令和元年度資金運用の経過の件	通常理事会 （第1回） （書面表決）
令和2年6月22日	① 理事長の選任の件 ② 常務理事の選任の件 ③ 顧問の選任の件	臨時理事会
令和2年7月31日	評議員会の開催（書面表決）	書面表決
令和2年10月28日	① 令和2年度事業計画及び収支予算の変更の件 ② 財団規則の変更の件 ③ 特別顧問の選任の件 〈報告事項〉 ① 令和2年度事業報告（上半期）の件 ② 令和2年度資金運用の経過の件	通常理事会 （第2回）
令和3年3月15日	① 令和3年度事業計画及び収支予算の件 ② 令和3年度資金運用の執行方針及び計画の件 ③ 財団規則の変更の件 ④ 評議員会への報告の省略の件	通常理事会 （第3回）
令和3年3月25日	① 評議員会の開催（書面表決）	書面表決

2 評議員会

開催日	議案等	備考
令和2年4月1日	理事の選任，評議員の選任の件	書面表決
令和2年5月1日	評議員の選任の件	書面表決
令和2年6月22日	① 令和元年度計算書類等の件 ② 役員の選任の件 ③ 評議員の選任の件 〈報告事項〉 ① 令和元年度事業報告書の内容の件 ② 令和元年度資金運用の経過の件	定時評議員会
令和2年8月1日	理事の選任の件	書面表決
令和3年3月24日	〈報告事項〉 ① 令和2年度事業計画及び収支予算の変更の件 ② 令和3年度事業計画及び収支予算の件 ③ 令和3年度資金運用の執行方針及び計画の件	臨時評議員会 (書面表決)

II 事業報告

【公益目的事業会計】

1 屋久島環境文化村構想推進事業

(1) 環境学習

① 自然・文化体験事業

ア 自然・文化体験セミナー

広く全国から参加者を募り、屋久島のフィールドを活用した自然・文化体験学習プログラムを提供するとともに町内外の方々との交流等を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から、一部を除き中止とした。

名称			
	内容	延期・中止の状況	参加者数
屋久島海中さんぽ			
	シュノーケリング	令和2年7月12日 中止	—
まるごと屋久島研究講座～里編～			
	島内一周 自然観察 産業見学	令和2年9月5日 中止 (当初4月18日を延期)	—
屋久島の循環を巡る連続講座～川・海編～			
	シュノーケリング, 沢登り体験	令和2年9月19日～21日 中止 (台風接近のため)	—
屋久島の循環を巡る連続講座～森編～			
	トレッキング	令和2年9月26日 (当初4月25日を延期)	8人
秋の屋久島トレッキング			
	トロッコ道トレッキング 小杉谷集落跡の散策	令和2年11月14日	12人
屋久島ツナガルアクティビティ			
	海辺の植物・生物観察, 地質観察, 昆虫観察, 産業見学等	令和3年1月実施予定を中止 (当初令和2年5月3日～6日を延期)	—
冬期1日セミナー			
	草木染めワークショップ	令和3年1月31日	9人
	冬のクワガタ探し	令和3年2月14日	12人

イ ふるさとセミナー

町内在住者を対象に、ふるさとの新たな一面を再発見し、その自然環境や文化に対する意識向上等を図るため、屋久島の身近な自然を素材にした体験型研修を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とした。

名称		
内容	延期・中止の状況	参加者数
<星空観察会> 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行う。		
春の星空観察会（宮浦小学校）	令和2年4月28日：中止	—
秋の星空観察会（永田小学校）	令和2年9月25日：中止	—
冬の星空観察会（八幡小学校）	令和3年2月19日：中止	—
<研修センターオープンデー> 研修センターを無料開放し、イベントを行う。		
木工クラフトや7000年の森を活用したネイチャーゲーム等を行う。	令和2年6月21日：中止	—
<自然に親しむ集い> 町内在住者を対象に、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、環境省・屋久島町と共催で、自然観察活動や自然体験活動を行う。		
・海辺の素材でネイチャークラフト （塚崎海岸） 【環境省】	令和2年10月4日	14人
・世界遺産西部地域の森歩き ～森と人々の歴史を観る～（半山地区周辺） 【屋久島町】	令和2年11月1日	13人
・アサギマダラマーキング会 （原地区・小島地区） 【財団】	令和2年11月15日	14人
<子どもエコ隊活動事業> 屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上を図り屋久島の未来を担う人材の育成を図る。		
アウトドアクッキング トレッキング	令和2年11月7日～8日	12人
みんなのエコ隊編	令和3年2月27日～28日	10人
<幼児環境教育推進事業> 町内未就学児の親子を対象に野外体験活動を実施し、幼少時代から環境意識を向上させる。		
・7000年の森どきどきたんけんの会	令和2年12月5日	6人
・焚き火でほくほく焼きいもの会	令和3年1月17日	12人
・ヤクスギの森わくわくたんけんの会	令和3年2月6日：中止	—

ウ インターンシップ

インストラクターに必要な資質や技能を高めるため、8月18日から31日まで鹿児島大学1年の女子学生と、9月8日から22日まで岩手大学3年の男子学生、合計2名を屋久島環境文化研修センターで職場体験をさせた。

② 受入事業

人と自然との関わりを理解し、環境保全への意識を高めるため、財団が作成した研修プログラムを活用する宿泊研修、一日研修及び短時間研修を行った。

なお、大学との連携として、鹿児島大学法文学部の学生による、屋久島環境文化村構想等についての調査研究や、鹿児島大学農学部が全国の農学系学部間の単位互換協定に基づいて実施する講座に当財団の研修プログラムが活用された。（例年実施している鹿児島大学教育センターとの教育協定に基づく同大共通教育課程の集中講座（屋久島の環境文化）は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止した。）

区分	令和元年度		令和2年度			
	団体数	参加者数	団体数	前年度比	参加者数	前年度比
宿泊研修	66団体	3,826人	22団体	33.3%	1,191人	31.1%
一日研修	39団体	1,063人	31団体	79.5%	813人	76.5%
短時間研修	3団体	24人	2団体	66.7%	12人	50.0%
合計	108団体	4,913人	55団体	50.9%	2,016人	41.0%

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

屋久島高等学校普通科環境コースの生徒を対象に、屋久島・口永良部島の自然、歴史、文化について理解を深めるため、環境学習に関する研修、他の地域で環境保全活動を行っている団体等との交流に対して支援を行った。

また、令和2年8月8日に屋久島環境文化研修センターを会場として「第21回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会」をオンラインで開催した。開催に向けて、生徒の課題研究等への支援や円滑な運営に向けてのサポートを積極的に行った。

名称			
内容	開催日	参加者数	
夏季宿泊研修（生物）			
生物に関する調査（採集，調査等）	令和2年6月9日 ～6月10日	17人	
環境サミット準備（2日間）			
環境サミット準備，素材集め	令和2年7月7日 令和2年7月8日	21人	
環境サミット準備			
環境サミット準備，Zoom体験，通信状況確認	令和2年7月10日	17人	
全国高校生オンライン自然環境サミット リハーサル			
リハーサル	令和2年8月6日	17人	
第21回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会			
オンライン自然体験，参加校研究発表 等	令和2年8月8日	17人	
第22回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会へ向けて			
第1回実地研修（一日研修）	令和3年3月4日	23人	
合計	6回実施	112人	

④ 出張屋久島講座

町内の児童・生徒に、屋久島の環境学習を行った。

名称			
内容	開催日	参加者数	
総合的な学習の時間（神山小学校3年）			
昆虫採集，観察	令和2年7月1日	12人	
生活科（安房小学校1年）			
昆虫採集，観察	令和2年10月15日	34人	
合計	2回実施	46人	

⑤ ユネスコスクール連携推進事業

国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整を図る、ユネスコスクールのグローバルなネットワークを活用するため、「持続可能な開発のための教育」(ESD)に取り組む島内教育機関のユネスコスクール登録を支援した。

名称			
内容	開催日	参加者数	
春を感じる森あそび(安房保育園)			
7000年の森散策	令和2年5月21日	44人	
水の生き物観察(安房保育園)			
木のメダル作り, ネイチャーゲーム	令和2年5月27日	45人	
ESD研修①「いきものと国立公園」(安房保育園)			
職員向けのESD研修	令和2年7月13日	24人	
海の保育園観察(安房保育園)			
塚崎海岸にて生き物観察	令和2年7月14日	24人	
タイドプール観察事前指導(安房保育園)			
海の生き物命のつながり	令和2年7月20日	39人	
タイドプール観察(安房保育園)			
春田浜にて生き物観察	令和2年7月21日	21人	
棒パン作り(安房保育園)			
キャンプサイトにて火起こし体験や棒パン作り	令和2年11月12日	44人	
ヤクスギランド散策(安房保育園)			
年少組の森の散策	令和3年1月15日	21人	
ヤクスギランド散策(安房保育園)			
年中組, 年長組合同の森の散策	令和3年1月19日	24人	
「水の循環」島内バスレク(安房小4年)			
屋久島の水と産業の学習	令和3年1月29日	40人	
合計		10回実施	326人

⑥ 屋久島研究講座

町内在住者を対象に、屋久島の自然や文化に関する理解の促進・普及を図り、その未来を担っていく人材を育成するため、屋久島をフィールドとして調査・研究している研究者や専門家を講師とする講座を開講した。

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
越境汚染物質・最前線としての屋久島			
福岡工業大学 永淵 修	令和2年12月12日	オンライン開催	157人
屋久島の植物相とその由来			
矢原 徹一	令和2年12月13日	オンライン開催	182人

(2) 環境形成

① 環境保全活動支援事業

ア 山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部の荒廃を防ぐため、登山者へのマナー指導（5月2日、4日）や関係機関とともに、荒川登山道の安全点検（7月17日・2月24日）を行った。

その他、山岳部におけるマナーのさらなる啓発のため、ポスターやのぼり旗を作成し、関係機関への配布を行った。

イ エコツーリズム支援事業

屋久島におけるエコツーリズムの取り組みを推進するため、屋久島町エコツーリズム推進協議会へ参画するとともに支援を行った。さらに、ガイド業が閑散期となる冬場に各種のスキルアップ等を目的とした各種の研修会や講習会を実施した。

区分	開催日	参加者数
野外活動指導者（NEAL）リーダー養成セミナー	令和2年12月10日～13日	3人
日本赤十字救急法基礎講習	令和3年1月15日	9人
屋久島ガイドセミナー	令和3年1月28日～29日	19人
自然体験活動指導者（NEAL）インストラクター・インタープリタートレーニング講座	令和3年2月9日～12日	2人

ウ 生物多様性保全事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対する支援や、屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。

また、生態系及び住民の生活環境に影響を及ぼす恐れのあるシカ・サル等の被害の状況調査に支援を行った。

団体等名	調査研究等内容
鹿児島大学連合農学研究科（博士課程3年） 蘭光健人	屋久島に自生する希少着生植物の多様性評価とその保全
東京大学大気海洋研究所（学術支援職員） 畑瀬英男	ウミガメの繁殖および孵化特性における時間的変異性と安定性
新潟大学佐渡自然共生科学センター（教授） 崎尾 均	屋久島におけるサツキの分布特性と生活史戦略
東北大学大学院生命科学研究科（博士後期課程2年） 伊藤 舜	屋久杉林がもたらす貝類相の多様性
京都大学大学院人間・環境学研究科（博士課程2回） 高橋大樹	現地調査と標本調査による屋久島産高山植物へのヤクシカによる食害の影響
三重大学大学院生物資源学研究科（助教） 北上雄大	屋久杉の生育を支える土壌微生物群集を解き明かす
屋久島野外調査研究会（代表者） 小原比呂志	ヤクスギランド線野外博物館構想

エ うみがめ保護対策事業

うみがめの産卵・孵化場所である海浜の環境を保全するため、遮光林の維持管理を行うとともに、関係機関と協力して保護柵の設置や海岸清掃を行った。

- うみがめ保護遮光林維持管理

委託先	委託期間	実施場所
永田区 一湊を語る会	令和2年7月11日 ～ 令和3年1月29日	永田（いなか浜） 一湊（一ツ浜、二ツ浜）

- 保護策の設置及び海浜の清掃活動

主催団体	実施日	実施場所
屋久島町エコツアーリズム 推進協議会	令和2年4月24日	永田（いなか浜）

・ マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、屋久島の主要な海岸において、地元住民及びボランティア等と連携して美化作業を行い、優れた海岸景観の保持及びウミガメ繁殖環境の保全を行った。

実施団体	実施日	実施場所
栗生区	令和2年8月1日	塚崎海岸（第1回）
	令和2年12月20日	塚崎海岸（第2回）
永久保区	令和2年11月29日	田代海岸
永田区	令和3年1月24日	永田浜（前浜，いなか浜）

② 屋久島動植物調査等事業

自然保護の普及活動を推進するため、環境学習や自然観察の資料として活用されている財団発行のガイドブック「屋久島昆虫ガイド」について、改訂のための調査・研究を行い、改訂版の発行を行った。

③ 山岳部誘客推進支援事業

ウィズコロナ時代の「屋久島版山岳ガイドディングマニュアル」を作成し、関係機関及びガイド等に配布するとともに、屋久島が新しい生活様式に沿った安全な登山ガイドディングを実施している地域であることを発信・PRした。

(3) ネットワーク形成

① ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化を図るため、環境文化ボランティアの登録、ボランティア団体の支援、ボランティア活動に関する情報発信を行った。

ア 環境文化ボランティアの活動（登録者数44名）

財団登録の環境ボランティアにより中核施設が主催する各種イベントにおけるボランティア活動や島外企業との共同ボランティア活動を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からすべて中止とした。

実施日	内容	参加者数
令和2年6月 (中止)	世界環境デー	—
令和2年6月21日 (中止)	研修センターオープンデー	—
令和2年7月～12月 (中止)	誘客活動（フェリー屋久島2及び高速船）	—
令和2年7月 (中止)	村せん祭り	—
令和2年11月 (中止)	レク森協議会とアサヒビール（株）との自然休養林内の共同清掃活動	—

※ 大型客船の見送りは屋久島への寄港がないため未実施。

イ ボランティア団体への支援

島内で環境保全活動等を行うボランティア団体へ活動経費の助成を行った。

団体等名	
活動内容	
屋久島国立公園パークボランティアの会	
海岸清掃活動	

② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業所への勧誘活動等は11月から再開し、会員数増加に努めた。

屋久島ファンクラブ会員数	812人
うち令和2年度新規加入者	77人

③ 財団情報の発信誌発行

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 8ページ)の発行(3,000部/号)

全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	主な内容
第75号	令和2年7月	鍬形虫(くわがたむし)～屋久島の勇ましき魅力～
第76号	令和2年11月	屋久島で密かに進行する 在来種ヤクヤモリと外来種の交雑
第77号	令和3年3月	屋久杉と共に～生命線～森林軌道

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部/月)

毎月1回町内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

④ 研究者ネットワークの形成

町内在住者や来島した研究者等へ情報提供を行うとともに、研究者や専門家による調査・研究内容を町民に紹介する場(屋久島研究講座等)を設け、地元への還元を図った。

(4) 屋久島地域づくり支援

① 里のエコツアー推進事業

ア 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 協議会事務局の運営と里のエコツアー（里めぐり）を実施した。
- ・ コロナ感染症対策のためにガイドラインの策定とともに周知を図った。また、感染対策消耗品（消毒液・マウスシールド）の配布を行った。

(参考) 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 会員
屋久島町，財団，集落（永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間，本村）
- ・ 目的
屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・ 屋久島里めぐり参加者数（受入回数）

集落名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
吉 田	504人（38回）	144人（22回）	108人（17回）
宮之浦	260人（46回）	133人（35回）	47人（15回）
春 牧	253人（32回）	225人（28回）	70人（17回）
平 内	67人（11回）	50人（8回）	17人（5回）
中 間	51人（9回）	63人（9回）	14人（2回）
永 田	131人（23回）	55人（14回）	0人（0回）
一 湊	231人（28回）	150人（22回）	78人（13回）
本 村	一人（一回）	3人（2回）	8人（2回）
合計	1,497人（187回）	823人（140回）	342人（71回）

イ 里のエコツアーの拡充

環境文化の啓発と観光振興を併せて実現する「里のエコツアー（里めぐり）」について，未実施集落の組織づくりや徳之島での視察研修による語り部育成などのサポートとともに，語り部のスキルアップ等を図った。

② 屋久島の里づくり推進事業

ア 歴史・文化ガイドブック作成

新たな屋久島の魅力の発信の一環として，屋久島里めぐり推進協議会が県の事業を活用して作成する，神社仏閣や遺跡，人々の暮らし（文化）を親しみやすくまとめたガイドブック「屋久島の歴史ガイド」（B6版）の発行に対して支援を行った。

イ 屋久島の里の説明看板設置事業

里地を中心とした着地型観光の確立と屋久島の里の魅力の一層の発信を目指して，屋久島里めぐり推進協議会が県の事業を活用して実施する，屋久島及び口永良部島の各集落の名所・旧跡等に説明看板の設置に対しての支援を行った。

実施集落 志戸子，船行，尾之間，高平，栗生集落 各1基

③ 地域づくり支援事業

集落の伝統文化行事等の地域資源の発掘及び保全や、優れた芸術活動を行っている団体等を支援し、また、環境保全・環境教育に関わる子どもたちの育成や地域づくりに資する各種イベント等への支援を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各種活動等が中止されたこと等から支援実績なしとなった。

④ 特産品開発事業

地域の個性を引き出し、見いだされた個性を付加価値として商品づくりに生かし、環境文化型の産業おこしに結びつけるため、新たな特産品の開発を行おうとする者への支援を行った。

なお、里めぐりにおいて昼食を提供する集落の関係者に対する「食品衛生法研修会」を実施予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

団体等名
活動内容
株式会社おいしい珈琲 岩本 茂樹
屋久島の草花を利用した特産品開発

⑤ 屋久島の未来と環境文化を考える新たな協働事業

ア 世界自然遺産屋久島の未来と環境文化を考える懇談会活動

これまで積み上げてきた「環境文化」を再評価し、次の25年の屋久島の未来、屋久島の自然共生社会の在り方を再構築、創造するため、屋久島の長期的、持続的な発展を願って意見を交わす懇談会を3月に東京で開催した。

イ 屋久島の自然、環境文化を最先端技術映像等で内外に発信する活動

MBC南日本放送との協働による映像制作に向けたワーキンググループによる会議を6月下旬と9月下旬の2回開催し、映像テーマやシナリオの検討を行った。屋久島の貴重な自然の映像に学名などの解説を付した「自然解説編」と第1回環境文化懇談会の映像を中心にまとめた「インタビュー編」の2本の映像を作成するとともに、昨年度作成した映像（屋久島の四季）の英語版（字幕）を作成した。

ウ 屋久島の環境文化の普及啓発活動

「里のエコツアー（里めぐり）」の充実強化を図るため、新規里めぐり集落の開拓及び資源調査や屋久島町の木造庁舎等を巡るツアーの検討のほか、里めぐり受付システムの構築を行った。

また、世界自然遺産登録を見据えた奄美群島との連携活動として、12月に徳之島及び奄美市において関係者や里のエコツアー（まち歩き）実施団体との意見交換やエコツアー体験を行った。

(5) 国際交流

① 日新交流支援事業（23年度～，10回目）

屋久島町の、「縄文杉」とニュージーランドの「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機として町内中学・高校生を派遣する事業に際し、渡航に必要な経費の一部の支援を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う渡航中止措置により中止となった。

② 留学生ホームステイ受入事業（24年度～，9回目）

町内在住者と外国人の異文化交流を図るため、鹿児島大学、鹿児島国際大学及び志學館大学の留学生を町内家庭で受け入れ、屋久島の文化や暮らしの体験、町内在住者との交流活動等を行うこととしていたが、各校の夏季休業中における新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

2 中核施設管理運営事業

(1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託（指定管理者）し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。

① 村センター管理運営

入館者

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比
入館者数	70,944人	63,011人	35,225人	55.9%
うち有料観覧者数	16,467人	13,721人	4,538人	33.1%

貸出施設

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	70回	78日	83回	87日	51回	53日
交流ホール	8回	181日	6回	154日	7回	251日
大型映像ホール	3回	4日	4回	4日	1回	1日

ア 施設利用促進施策

施設利用促進策については、以下のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、(ア)及び(イ)を除いて実施を控えた。

- (ア) 町内宿泊施設等への案内リーフレットの配布・宿泊者への割引制度の実施
- (イ) 鹿児島港南ふ頭や高速船ターミナル、宮之浦港、安房港、町内宿泊施設等へのポスター配布、掲示
- (ウ) 宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場における到着時の定期的な誘客活動
- (エ) 県外のエージェント訪問、誘客（訪問・誘客なし）
- (オ) 大型客船入港時の誘客活動（客船入港なし）
- (カ) 島内外のイベントにおける財団PR（各種イベント中止）

イ 開館24周年記念イベント

屋久島環境文化村センターの開館を記念したイベントを例年7月に実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

開催日	内容	参加者数
令和2年7月 (中止)	施設の無料観覧	—
	映画会	—
	工作・撮影会等	—

ウ 交流ホール展示

開催日	内容	備考
令和2年4月1日 ～6月30日	宮之浦回顧展	特別企画展
令和2年7月14日 ～8月21日	まるりん塗り絵展	特別企画展
令和2年8月11日 ～8月25日	「屋久島和紙」研究会の展覧会 <8がつ展>	
令和2年10月3日 ～10月31日	ハワイアンキルト屋久島展	
令和2年12月1日 ～ 令和3年1月10日	宝の島「馬毛島」を知る写真展	
令和3年1月15日 ～2月11日	小杉谷・石塚写真展	特別企画展
令和3年2月11日 ～3月19日	「屋久島和紙」研究会の展示会	

エ 映画上映会

例年、地元財団賛助企業「屋久島電工株式会社」からの助成により、町民向けの映画上映会を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

開催日	映画名	来場者数
令和2年5月 (中止)	—	—
令和2年12月 (中止)	—	—
令和3年3月 (中止)	—	—

② 研修センター管理運営
利用者

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比
利用者数	8,002人	7,342人	2,794人	38.1%

貸出施設

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	13回	13日	18回	18日	7回	7日
視聴覚室	5回	5日	3回	3日	0回	0日

ア 施設利用促進

- (ア) 例年、県内及び県外のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）や環境科設置校等を訪問し、研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。
- (イ) 冬季対策として町内の未就学児の親子を対象とした一日研修や町民向けの一日型セミナーなどを行った。
- (ウ) 6月実施予定のオープンデーについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、2月21日（日）に延期し、「7000年の森」周辺施設である屋久島自然館、世界自然遺産センター、屋久島環境文化研修センターの三者と民間団体が協同してイベントを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

③ 財団ホームページ管理運用と情報発信

財団ホームページの適正な管理運用を行うとともに、フェイスブックの活用、メールマガジンの発信により、日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めている。

また、新たに若年が多く利用しているインスタグラムのアカウントを開設し、屋久島の風景や財団事業の様子などを発信して幅広い世代への情報発信に努めた。

④ 教育機関との連携

教職員及び生徒の体験学習を積極的に受け入れ、財団を知ってもらうとともに、郷土の良さや環境等へ視野を広げる取り組みを実施した。

安房小学校	教諭4名	(8月4日～8月6日)	: 3日間
金岳小学校	教諭1名	(8月18日)	: 1日間
中央中学校	教諭1名	(8月26日～8月28日)	: 3日間
安房中学校	生徒2名	(10月27日～28日)	: 2日間

【収益事業会計】

書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、屋久島環境文化財団オリジナルグッズ（マスキングテープ、キャラクターシール、里に特化したポストカード）、屋久島WAONカード、クオカード等や屋久島関連書籍等の販売を行った。

なお、新たなオリジナルグッズとして、キャラクターのスタンプ入りエコバッグの販売を、また、新たな書籍として、山極寿一氏の「ヤクシマザルを追って」を取り扱うこととした。

【法人会計】

管理費

本部管理費

① 本部管理費

ア 理事会・評議員会

理事会、評議員会を開催し、財団の諸課題等について協議した。

イ 管理運営

財団の効率的な管理運営に努めるとともに、福岡東南ロータリークラブで講演を行い、財団の業務概要の説明と賛助企業への加入依頼を行った。また、屋久島町内等で企業訪問を行い、賛助企業への加入依頼を行った。

② 職員スキルアップ事業

研修課インストラクターの各種セミナーへの参加、現地調査、研修教材の購入等を助成するとともに、事業課事務員の会計・簿記等事務研修を支援し、職員のスキルアップを図った。

令和2年度事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。